

和光

発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地
国立療養所 奄美和光園
電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230

令和6年11月1日
(2024)

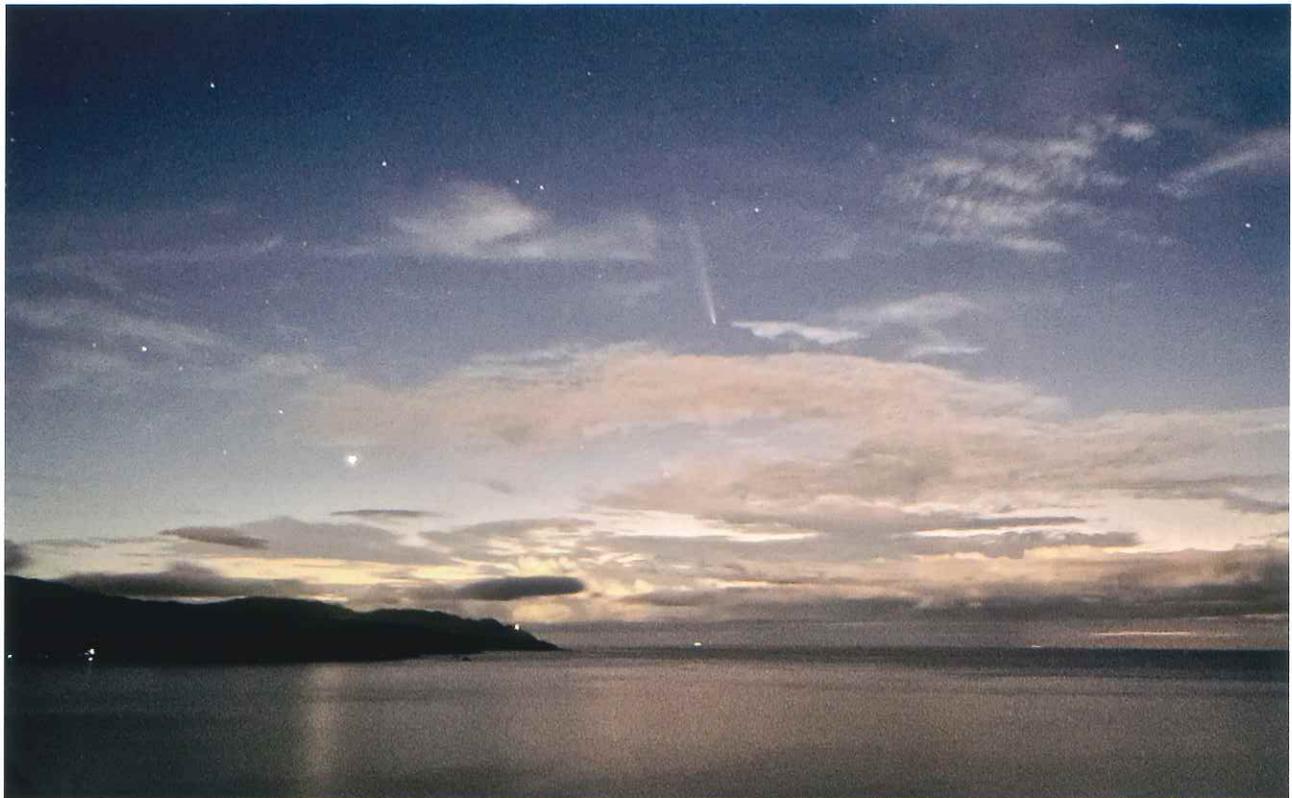
第135号



■表紙	1	■ハロウィンイベント	10
■「令和6年度 奄美和光園親子療養所訪問」を終えて	2	■和光園災害訓練に参加して	11
■和光園八月踊りについて	3	■国立病院総合医学会に参加して	12
■敬老祝賀会	4～7	■今年も和光園BLS研修会を開催	13
■合同誕生会	8	■令和6年度 鹿児島県総合防災訓練	14～15
■親睦ゲーム大会開催	9	■NST News Letter	16
		■研修医自己紹介・新人紹介	17
		■診療統計・人事異動・和光園日誌・編集後記	18

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



紫金山・アトラス彗星（大浜海浜公園展望所より）令和6年10月16日18時49分

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

「令和6年度奄美和光園親子療養所訪問」を終えて

今年度の奄美和光園での親子療養所訪問は、園の入所者及び職員の皆様のご協力により、去る8月8日(木)に無事、実施することができました。

親子療養所訪問は、鹿児島県が平成14年度から開催していますが、令和2年度から5年度までは新型コロナウイルス感染症対策のため中止していました。5年ぶりの開催となった今年度は、親子1組4名が参加しました。

当日の内容は、施設見学、入所者との交流会など、実り多いものでした。

●見学等

- ・施設見学…園職員による説明
- ・交流会館(歴史資料館)見学
- ・納骨堂での献花…代表者2名

●交流会

- ・馬場園長あいさつ
- ・DVD視聴及び園職員による説明
- ・入所者との交流
- ・加納特命副園長まとめの言葉

少人数での交流会でしたが、参加者の質問に一つ一つ丁寧に答えていただき、穏やかな時間を過ごすことができました。子どもたちの素直な意見や反応が見られ、入所

者の皆様と直接話すことが良い経験になったのではないかと感じました。

参加者アンケートでは、「入所者のいろんな話が聞けて嬉しかった」「感染力が極めて少ない、薬もあるということを皆に伝えていきたい。ハンセン病という病気を知る事が一番大事だと思う」などの感想があり、参加者にとって、ハンセン病問題を正しく理解し、差別・偏見、人権について考えるきっかけになったと思います。

入所者の皆様と直接交流し、お話をすることが、ハンセン病を正しく理解することにつながると感じております。交流して下さる入所者の皆様には御負担をおかけしますが、参加者にとって、とても貴重で有意義な時間となりますので、今後も可能な範囲で御協力いただきますようお願いいたします。

園長先生はじめ職員の皆様にも多大な御協力をいただき、本当にありがとうございました。

今後とも、本県のハンセン病対策について御指導及び御協力いただきますよう、重ねてお願いいたします。

鹿児島県庁

保健福祉部健康増進課 岩元 千鶴



和光園八月踊りについて

和光園での八月踊りの始まりは、和光園OBの松原 千里氏の話によれば今里、笠利、古仁屋出身の入所者の方々が、園内で盛大に八月踊りをしていたことから始まったそうです。

昭和50年には大熊カトリック教会の皆様が初めて八月踊りの慰問に来られました。その後、大熊カトリック教会と大熊五十路会が中秋の名月（旧暦8月15日）と一緒に慰問に来て、午後7時ごろから2時間、初めは記念公園前で踊り、その後は毎年和光園グラウンドで盛大に八月踊りが行われました。

大熊から和光園までの往復移動は園のバスを使用し、平成22年ごろまでは大熊町内会が慰問されていたそうです。

私たち有屋町内会は昭和53年ごろから八月踊りを和光園で行っています。

和光園では3か所（本館事務所前、不自由者棟前、高倉）で八月踊りをしていました。

40年ほど前には入所者も若くて活気があり、みなさん観るのを楽しみにされており、来年も来てくださいと声をかけられたそうですよ。有屋町内会は大熊町内会ほど人数が多くはありませんが、和光園での八月踊りが現在に至るまで続いていることには驚きを感じています。

また来年も皆様とお会いできる事を楽しみにしています。お身体には十分気を付けてお過ごしください。

有屋八月踊り保存会
保 初男



敬老祝賀会

令和6年9月12日(木) 13:30より、奄美和光園講堂にて、令和6年度敬老祝賀会が開催されました。

これは、高齢の入所者の皆さんに敬意を表し、長寿のお祝いをするとともに、入所者の皆さん、職員、地域の皆さんの親睦を深めることを目的として、長年開催されてきたものです。

これまで、コロナウイルス感染対策で開催できない2年間がありました。一昨年度から徐々に規模を拡大し、今年度は、ついに、コロナ前と同様に来賓の方をご招待して開催することが出来、本当にうれしく思いました。

記念式典は、馬場園長の挨拶から始まり、奄美市長の祝辞と続きます。そして、敬老の皆さまへ、奄美市からの敬老祝金と、当園からの敬老記念品の贈呈が行われました。今回は、入所者を代表してSさんに記念品を受け取っていただきました。Sさんからは「ありがとうございます。うれしいです」というお礼の言葉がきかれました。記念品贈呈の後、長年、奄美和光園のさまざまな行事で歌い継がれてきた和光園歌を、参加者全員で斉唱して式典を締めました。

式典の後、お楽しみの余興の部です。

今回は、職員による島唄からスタート。島唄は余興の始まりを告げるとともに、お祝いの気持ちを込めて「朝花節」が披露されました。職員の島唄も板についてきて、入所者さんから「上手つくあじゃが」というお褒めの言葉が聞かれました。

島唄の後、入所者の皆さんの「余興」が続きます。

Kさんによるカラオケ「川の流れのように」、Sさん、Hさん、Yさんによる浦島太郎の替え歌の「じいさん・ばあさん」、Tさんが熱唱されたカラオケ「十九の春」、Hさんによるカラオケ「君たちがいて僕がいた」、いずれも大変な盛り上がりを見せました。

途中、看護課職員によるソーラン節が披露された後、入所者さんの作品が紹介され

ると、来賓の皆さんから「おおおお」という感嘆の声と拍手が送られていました。

この後、あまみ保育園の子供たちからお遊戯が披露され、入所者の皆さんは手拍子をして「はげ～、かわいい」「元気がもらえるや～」とおっしゃっていました。

ここで子供に負けじと出てきたのは、栄養・給食の皆さんです。今回は、調理師のハツオあによがマイクを握り、バックコーラスつきで十八番の「長崎は今日も雨だった」を披露されました。その美声に会場はひっくり返るほど盛り上がり、最後の「お届けしましたのは、雇用継続職員のハツオでございます」という自己紹介では、会場から大歓声が飛んでいました。

さらには、安田市長が、この日のために結成されたエイサー隊をしたがえ、カラオケで「島人ぬ宝」を披露されました。市長じきじきの余興で、入所者の皆さんも大いに感動され、大変喜ばれていました。ちなみにエイサー隊のメンバーには馬場園長も参加されており、後日新聞紙面にも写真が掲載されていました。

祝賀会の最後は、奄美の祭りでは欠かせない「総踊り」と「六調」です。参加者全員で輪になって踊りました。

その後、特命副園長より締めのおいさつがあり、敬老祝賀会は、無事にお開きとなりました。

会のあとは、参加者全員で記念撮影をしました。楽しかった雰囲気や伝わる写真が出来上がりました。

敬老祝賀会の目的は「高齢の入所者の皆さんに敬意を表し、長寿のお祝いをする」ことでしたが、逆に、我々が、入所者さんから元気を分けていただいたというのが、率直な感想です。

また、来年も、入所者さん、地域の方、職員、一緒になってお祝いできることを願っています。

敬老の方々、このたびは誠におめでとうございました。

福祉室
医療社会事業専門員 保 裕之



敬老会 会場
職員手作りの飾り付けが、和やかな雰囲気をつくれます。



入所者さんとふれあう、安田市長



園長あいさつ



安田市長の祝辞



敬老祝い金の贈呈



敬老記念品の贈呈



職員による 島唄



ソーラン節



入所者さんの作品が紹介されました



保育園のお遊戯



ハツオあによ率いる、栄養・給食の皆さんの「長崎は今日も雨だった」



安田市長のカラオケ
馬場園長の姿も・・・



締めめの六調



加納特命副園長の挨拶



参加者全員で記念撮影





合同誕生会

10月3日(木)にあすなろホールにて第1回合同誕生会が行われました。

今回は6月生～11月生の5名の皆さんで、手造りの花飾りが胸にかけられ、会場にはおにぎりを持った「かかし」も参加して秋の気配を楽しみました。

レクリエーションでは焼き芋をアルミホイルで包み、入所者が作った落ち葉に入れて美味しくなるのを待ちました。その間、保育園児がお誕生日の歌や「焼き芋」の歌に合わせて踊ると、皆さん笑顔で手拍子していました。

落ち葉の中から焼き芋を取り出し、美味

しそうな焼き芋を手に、「ニッコリ」笑顔でした。

お誕生者へのプレゼントは園児が描いた似顔絵のメダルで、一人ひとりの首に掛けてくれました。お礼に入所者の代表がお菓子の入ったバックを園児へ手渡すと、大好きなキャラクターにとっても喜んでくれました。

来年は第2回合同誕生会が行われます。来年も、季節を楽しみながら「ゆんきゃぶり」お誕生日のお祝いをしましょう！

不自由者棟 介護員 朝野 寿枝



入所者が作った落ち葉



「かかし」も参加しました



園児が描いた似顔絵と入所者が大好きな動物のメダル



おめでとう



親睦ゲーム大会開催

令和6年10月24日(木) あすなるホールにて、親睦ゲーム大会を開催し総勢35名が参加しました。

今年度はボーリングを開催しました。ゲームは入所者と職員を合わせて4名ずつの4チームで対戦し、ゲート内に設置した5本のボーリングピンにボールを当てて、倒した数を競いました。入所者はバレーボールを使用し、上手に転がしてピンを倒していました。「ここから、転がしたらいいんじゃないかい」との言葉もあり、真剣な表情が見られました。

職員は小さめで軟らかいボールだったた

め、なかなかピンに当たらず苦戦していましたが、回数を重ねると次第にボーリングピンに当たりはじめました。ピンを倒すたびに大きな歓声や拍手があり、たくさんの笑顔が見られました。

短い時間でしたが、入所者及び職員の皆さんのおかげでスポーツの秋にふさわしい楽しいイベントとなりました。御協力ありがとうございました。

看護サービス委員 病棟 下川 満



にんどのハロウィンは、ハリーポッターにきめた !!!

まだ暑い時期から楽しみにしていたハロウィン。10月に入るとまずは、お部屋の装飾のお手伝い。ストローでバルーンを膨らませたり、窓ガラスにおぼけ等のステッカーを貼ったり、折り紙で南瓜作りにも挑戦しました。

お集まりの時間にハロウィンの紙芝居や絵本ですっかり気分も盛り上がり、いよいよ当日を迎えました。この日の為に用意した帽子にマント、そしてハリーポッターにはかかせないメガネに杖と準備も整い出発です。少し緊張していましたが、職員の方に「カワイイ」と声をかけられると「**ハッピーハロウィン おかしをくれないと いたずらしちゃうぞ**」と笑顔で

言うことができました。

会場では、入所者の方々や職員の方々と一緒に「月」をうたったり、じゃんけんの手遊びやエビカニクスを踊ったり楽しいひと時を過ごすことができました。最後は、集まってくくださった方々へ、杖で「**げんきでいてください**」と魔法をかけて会場を後にしました。

行事を通し園児も皆様の前で1人でできたことが自信にもつながり、私達保育士も成長を感じることができました。

たくさんのお菓子のプレゼントありがとうございました。

保育士 岸 円



和光園災害訓練に参加して

令和6年10月29日(火)に、令和6年度の災害訓練を実施しました。今年度は、園の目標として、BCP(事業継続計画)策定に向けて、ワーキングチームを立ち上げ、数ヶ月前から取り組んでいる内容でしたので、多くの職員の災害に対する意識の高まりを感じながらの訓練となりました。

今回の災害訓練のシナリオは、長雨が持続し、一般舎鶴寮から不自由者棟にかけて、建物の西にある山側斜面での土砂崩れの恐れを想定して、一般舎・不自由者棟・病棟の入所者を迅速に安全な場所(管理棟3階)に避難誘導することを目的として実施しました。

緊急非常放送で、土砂崩れの恐れを園全体に知らせ、災害対策本部が立ち上がり、看護課と搬送班の職員が連携し、一般舎・不自由者棟・病棟の模擬入所者を、車で迎えに行ったり、ストレッチャーやターポリン担架で搬送したりと避難誘導しました。ま

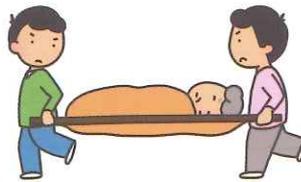
た、救護所となる3階に薬や医療機器などの必要物品を運び、パーティションで仕切り、トリアージを行うなど本番さながらの訓練となりました。

今回の訓練は平日昼間想定で行いましたので、多くの職員が参加し、改めて、災害対策を考えたり、役割分担を確認したり、作成中のBCP行動計画を見直したりする良い機会になったと思います。

最後に、訓練に協力いただいた職員の皆様、本当に、お疲れ様でした。

庶務班長

毛利 安則



ターポリン担架で
垂直避難



災害対策本部



国立病院総合医学会に参加して

この度、大阪にて行われた第78回国立病院総合医学会に出席しました。私は、令和5年度病棟にて取り組んだ論文のポスター発表のサポートを行いました。病棟で取り組んできたことを3分間と短い時間ではありましたが、しっかり発表することができ嬉しく思いました。

今回、とても大きい会場と来場者の人数の多さに圧倒されましたが、当園から園長はじめ二木OTが発表しました。皆さん締切り間近までポスターや原稿修正にて頑張っておられ、すばらしい発表をされていました。その中で二木OTがベストポスター賞を頂いており、ハンセン病療養所の職員も研究的視点を持ち、日々の業務に努めていることを誇らしく感じた場でもあり

ました。また、意思決定支援や業務効率、働き方、看護技術、医療安全等数多くの発表があり、同じような問題・課題に対する共感とその改善に向けた取り組みを学ぶことができました。

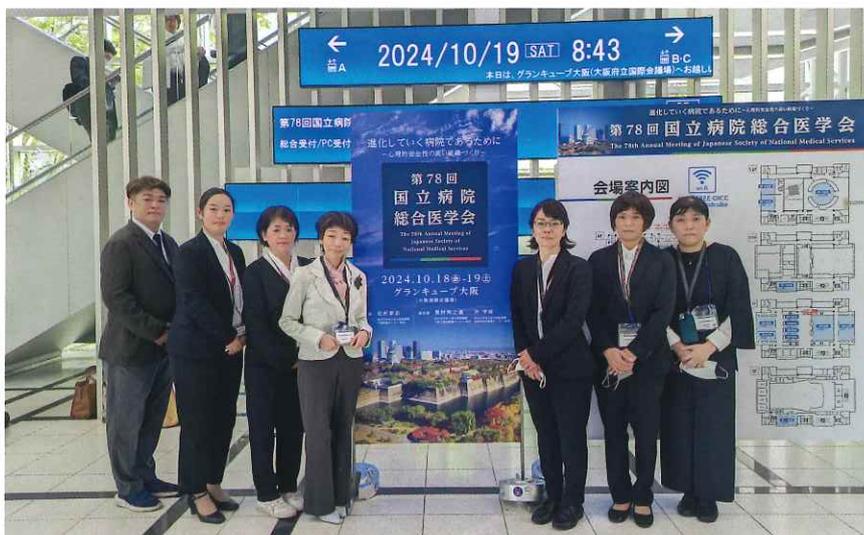
今回、電車や徒歩での移動で時間に追われ、どこをみても大きなビルに囲まれ、人も多く、奄美とは全く違う時間の流れと風景でした。その中で山や海、川等自然に囲まれた奄美、和光園の風景を思い出し、その良さを改めて感じました。

このような学会発表の機会を戴き、心より感謝いたします。

病棟 副看護師長 山口 千春

発表演題 *発表日時順

	職名	氏名	演題
1	作業療法士	二木 琢也	うつ病性仮性認知症の関わりと経過 ～ABCミーティング（ABC認知症スケール） を通しての一症例～
2	看護師長	窪田 マキ	ハンセン病療養所 A 園で働く中堅看護師の仕事意欲と関連する要因
3	園長	馬場まゆみ	静脈瘤症候群に続発した原発性皮膚びまん性大細胞型B細胞リンパ腫・下肢型の1例
4	看護師	最上直子	皮膚科外来に通院する高齢患者のスキンケアに関する実態調査



今年も和光園BLS研修会を開催

今年で第10回目となるBLS研修会が7月～10月にかけて行われました。コメディカルを対象に41名の参加がありました。

今年度から看護師以外の医療安全推進担当者もインストラクターとして参加し、教える側としてもより深い学びとなりました。研修会の内容として「胸骨圧迫・AED操作」「窒息時の対応」「担架を用いての搬送」といったスキルが身につくよう毎年実施していますが、数カ月たつと知識や技術があいまいになってしまうことが多く、

継続して取り組む必要性を感じます。研修生より「日常生活で役に立った」といった意見も聞かれました。

今後も園内に限らず緊急場面に遭遇した時には率先して動けるために職員一丸となり、スキルを活用していければと思います。

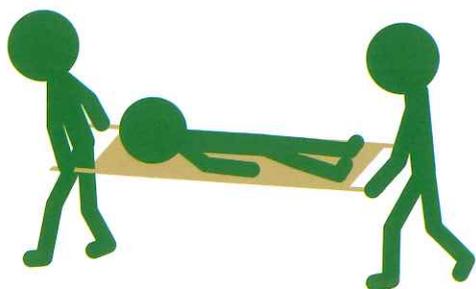
不自由者棟 看護師 肥後 加奈美



ターポリン担架搬送訓練



胸骨圧迫とAED操作訓練



令和6年度 鹿児島県総合防災訓練

5月26日、84の関係機関及び団体による鹿児島県合同防災訓練が奄美市で実施されました。想定は(表1)の通りで、未曾有の大災害が起きてしまったのです。

11年前となる前回は、大島郡医師会の救護班での2次トリアージ訓練に参加しましたが、災害対策が整い、今回の救護班は鹿児島県DMA Tが担当してくれましたので、私は個人的に「避難所運営ゲーム(HUG)」というイベントに参加しました。

冒頭の説明で奄美群島太平洋沖地震の被害想定、奄美における南海トラフ地震の被害想定(表2)が示されました。南海トラフ地震では被災地域が広範囲となるため支援が分散してしまい、**奄美に全国からの支援はほぼ期待できず**、自治体職員だけでは避難所の開設や運営が困難であると想定されることから、「**自助の精神**を持ち、避難所を住民主体で運営する」必要性が生じ、その訓練ツールがHUGです。避難者のカード、トラブルのカードがあり、カードゲームのような感覚で対応していきますが、ゆっくり考えている時間はありません。

今回の避難所は小学校です。次々とやってくる避難者を受け入れながら、校長室を、教室を、体育館を、避難所に作り変えていきます。赤ちゃんのいる家族、感染症の疑いのある小学生、介護が必要な高齢者、日本語がわからない旅行者、ペット同伴の若者、どの教室を割り当てる？

トイレが詰まって使えない、着替えがしたい、携帯電話を充電したい、洗濯物を干したい、トラブルや避難者からの要望も次々と起こります。優先順位をつけて解決するしかありません。

ありがたい支援物資も、届いたらどこに搬入？給水車はどこに停める？仮設トイレはどこに設置？マスコミ取材を効果的に利用するには？と考えることも山積みです。

そんなこんなでメンバーと避難所運営に

集中していたところ、視察に回ってこられた塩田鹿児島県知事と安田奄美市長に全く気付かず、大変失礼いたしました<(_)>

HUGで頭を使ったあとは、倒壊家屋や土砂に埋没した車両からの救出訓練や、大規模火災に対する海上からの放水など、小雨のなかをウロウロと見学していたらテレビ局のインタビューを受けました(^_-)☆

わかっていたことではありますが、このような訓練の際に①奄美群島太平洋沖、南海トラフ等の地震・津波被害の甚大さ、②減災のために各自ができること/しなければならないこと、③支援が絶望的な中で自助努力が重要なこと、を説明され、「自分たちで何とか生き抜くしかないんだ」と覚悟を決めました。そしてすぐにできることとして、その日の晩、長期保存可能な水、アルファ米、スープ、お菓子の缶、羊かんなどインターネットで買い込みました。今のところ、「どんな味かな〜？」と味見したい衝動を抑える平和な毎日です。

入所者の皆さんに読んでいただきやすい文章とするため、少し軽い表現となっておりますことをご了承ください。私が生まれてから50年弱の間にも、大きな災害が各地で発生しました。執筆している6月末現在、日本における直近の大災害は能登半島地震ですが、この本誌が発行されるまでも、台風や線状降水帯による被害が生じているかもしれません。

文末となりましたが、各地で発生した災害にて亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々やご遺族の皆さまに1日も早く穏やかな日々が戻ることを祈念いたします。また復興にむけて尽力されている方々へ敬意を表します。

園長 馬場 まゆみ

表1 想定

5:00	鹿児島地方気象台	警報級の大雨を予想、早期注意情報「高」を発表
5:30	名瀬測候所	大雨に関する気象情報発表
5:30	奄美市	市内全域に【警戒レベル3】高齢者避難を発令
8:00		奄美大島近海を震源とするマグニチュード8.2の地震発生
8:00	気象庁	緊急地震速報（警報）発表
8:03	気象庁	大津波警報発表、津波の高さを「巨大」と発表
8:03	奄美市	海岸付近の住民に避難指示発令
9:00	名瀬測候所	大雨（土砂災害）警報・洪水警報を発表
9:15	鹿児島県 鹿児島地方気象台	大和村、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町に土砂災害警戒情報を発表
9:20	奄美市	市内全域に【警戒レベル4】避難指示を発令
9:30	気象庁	奄美市と瀬戸内町で1時間に120ミリ以上の猛烈な雨を観測記録的短時間大雨情報を発表
10:00	名瀬測候所	大雨特別警報を発表
10:10	名瀬測候所	記録的な大雨に関する奄美地方気象情報を発表
10:15	奄美市	市内全域に【警戒レベル5】緊急安全確保を発表

表2 被害想定

	奄美群島 太平洋沖地震	奄美における 南海トラフ地震
死者	370人	470人
重傷者	180人 (負傷者430人)	160人 (負傷者460人)
全壊家屋	1790棟 (半壊5130棟)	780棟 (半壊1600棟)
最大津波 波高	8.3m	5.95m
到達時間	39分	77分



令和6年度
鹿児島県
総合防災
訓練

会場
名瀬港長浜みなと公園
奄美川商ホールほか

令和6年5月26日(日)
8:00~12:00

【主催】鹿児島県、奄美市

第1回避難所運営ゲーム (HUG)
～救急郷中会～
令和6年鹿児島県総合防災訓練企画

南海トラフ大地震は、30年以内の発生確率が70～80%！
・最大で6mの津波
・死者は400名以上出るといわれています。
それは明日起こるかもしれません…
自分は自分で守りましょう。
おいしい、おばあちを守りましょう！
「みんなが安心して避難できる避難所」
を作る練習をしてみましょう！

日時 令和6年5月26日(日)
8時～12時 (途中退室可能)

会場 奄美川商ホール

対象 奄美大島にご住まいの方

参加申込



NST News Letter

No.31

NST(栄養サポートチーム)活動では、入所者のみなさまの栄養状態を評価し、必要な栄養素の摂取量や食事内容の検討、食事指導等を行っております。検査科からは皆様の検査結果より必要な情報を委員会に提供しております。NST News Letter No.25では人体の生命維持に重要な3大栄養素にはたんぱく質、炭水化物、脂質があり、その中の一つ、たんぱく質について説明させていただきました。おさらいしますと、たんぱく質は筋肉や臓器、肌等、ほとんどの組織や臓器を作る構成要素で、ホルモンや酵素、免疫系としても機能し、肉や魚などの動物性たんぱく質と、豆や穀類などの植物性たんぱく質があります、といった内容でした。

今回は他の2つの栄養素、炭水化物と脂質について説明させていただきます。

まずは炭水化物から説明いたします。炭水化物は糖質と食物繊維に分けられます。主な食材としては穀物、果物、野菜、豆類などがあります。人間が生きていくための主なエネルギー源であり、特に脳や筋肉の活動に必要です。日本人の一般的な食事では摂取エネルギーの60%前後を炭水化物で得ているといわれています。炭水化物は摂取すると分解されてグルコースとなり、血液を通じて体内に供給されます。エネルギー供給が不足すると体は脂肪やたんぱく質をエネルギー源として代用し始め、これが続くと筋肉量の減少や体力低下を招く可能性があります。このように重要な栄養素ではありますが、過剰な摂取は肥満や糖尿病のリスクを高める可能性があるためバランスの取れた摂取が必要です。検査科では炭水化物に関連して、血糖値や血糖代謝に関連するヘモグロビンA1cといった項目を測定しております。空腹時の血糖値が126 mg/dl以上、食後血糖値が200 mg/dl以上、ヘモグロビンA1cが6.5%以上だったりすると糖尿病と診断されます。定期的な検査で確認することが重要です。

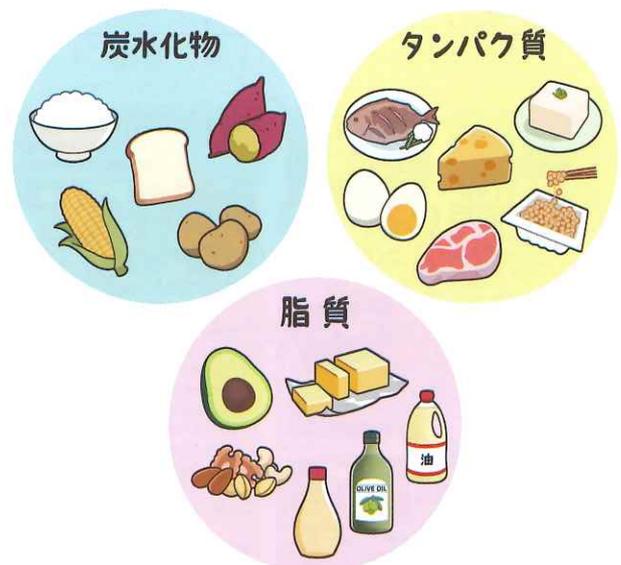
次に脂質について、脂質というと太るといったイメージがありますが、脂質にも種類があります。実は太る原因となる主な脂

質は飽和脂肪酸といい、動物性脂肪に多く、体の中に入っても血液をドロドロにする悪いイメージの油です。これに対して、植物油や青魚などに多い不飽和脂肪酸というものもあり、血液をサラサラにする働きがあります。脂質は細胞の膜やホルモンの材料になり、皮下脂肪として臓器の保護や体温調節、エネルギーの貯蔵にも関与します。また、ビタミンの吸収を助ける役割も果たしています。不足するとエネルギー不足やビタミン欠乏症を引き起こす可能性があります。このように重要な役割を持った脂質ではありますが、動物性の飽和脂肪酸を過剰に摂取すると心血管疾患のリスクを高めるため、適切でバランスの良い脂質摂取を調節することが必要です。検査科では脂質検査として総脂質(TC)や中性脂肪(TG)を測定し、NST委員会に情報提供を行い皆様の健康維持に役立てています。

2回にわたり3大栄養素について説明させていただきました。今後もこのような情報を、わかりやすく皆様にお届けしようと思っております。よろしくお願いいたします。

研究検査科 安藤 陽一郎

3大栄養素



研修医自己紹介

国立病院機構 相模原病院から、今年も「地域医療研修」のため研修医2年目の先生が2名いらっしゃるようになりました。

患者さんからも職員からも頼られる医師となるために必要なのは、医学の知識や技術だけでなく、患者さんの想いに寄り添うこと、職員の話に耳を傾けることも重要です。今年の研修でも各職場を回り、それぞれの職種がどのように入所者の皆さんに接しているのか、どのような思いで業務を行っているのかを体験し、理想とする医師像に必要な「何か」を見つけていただきたいと思います。

入所者の皆さん、職員の皆さん、よろしくお願いいたします。

立川 裕之



初めまして。10月の1か月間お世話になります立川裕之（たちかわ ひろゆき）です。東京都世田谷区出身、大学は北里大学を卒業しました。将来は整形外科へ進む予定です。

今までハンセン病を学ぶ機会は多くなく、今回の研修にて疾患に関してや、患者様との関わり方なども勉強させていただきたいと思えます。

趣味はゴルフ・お酒を飲むことで、今回は黒糖焼酎を飲むことも楽しみの1つに来ました。沢山コミュニケーションを取らせていただき、仕事に関しては勿論ですが、奄美大島のお勧めなども教えて頂けたらと思っております。

1か月と短い間ですが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

中村 文哉



11月の1か月間お世話になります。臨床研修医の中村文哉（なかむら ふみや）です。出身は神奈川県で、徳島大学を卒業しました。

これまで奄美は訪れたことはなく、奄美の土を踏むこと、またお住いの皆さまと交流できることを楽しみにしておりました。皆さまのおすすめの場所や食べ物などございましたら教えていただけると嬉しいです。

研修中は少しでも奄美の医療のお役に立てるよう、精一杯努力してまいりたいと存じます。短い期間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

新人 紹介

事務助手 永田 なみき（ながた なみき）

9月に給食係として入職しました永田と申します。給食の業務は未経験でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日でも早く業務を覚え、貢献できるよう努めたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



令和6年度 診療統計

	外来診療					再掲			入院診療	分子標的薬	
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均(人)	診療実日数(日)	紫外線療法(件)	手術/生検(件)	フットケア(件)	延患者数(人)	導入	維持療法
9月	45	192	237	21.5	11	67	2	7	0	1	1
10月	43	208	251	22.8	11	40	8	11	0	0	1

人事異動 (令和6年9月1日~令和6年10月31日)

R 6. 9. 9 永田 なみき 事務助手 採用
 9. 30 高橋 貴博 福祉室長 退職

和光園日誌 (令和6年9月1日~令和6年10月31日)

- R 6. 9. 3 保育所立入検査(大島支庁地域健康福祉課)
- 9. 10 県立大島病院と国立療養所奄美和光園との診療に関する協議会
- 9. 12 敬老祝賀会
- 9. 19 園外ショッピング
- 9. 25 第78回国立病院総合医学会リハーサル
- 9. 26 第25回アニマルセラピー
- 10. 16 第36回ハンセン病コ・メディカル学術集会リハーサル
- 10. 17 園外ショッピング
- 10. 18~19 第78回国立病院総合医学会(大阪)
- 10. 24 親睦ゲーム大会
- 10. 25 福岡法務局人権擁護部長来園
- 10. 29 災害訓練
- 10. 30 奄美市役所出前講座(防災講座)
- 10. 31 第26回アニマルセラピー
- 10. 31 厚生労働省医療経営支援課、国立ハンセン病療養所対策室来園
- 10. 31 ハロウィンパレード

編集後記

園内では、たくさんの行事が開催されましたが、入所者の皆さん楽しんで頂けましたか。

世間では、ワールドシリーズでドジャース優勝、日本シリーズは横浜DeNAベイスターズが優勝し、優勝パレードの熱気も落ち着いてきています。

11月を迎え、奄美でも朝晩の肌寒さを感じております。これから、年末の慌ただしさを迎えますが、インフルエンザや新型コロナウイルスのワクチン接種も始まります。この冬を乗り切るためには、感染対策を行い皆さん元気に過ごしましょう。

編集委員 衛藤 ゆかり